

一主婦からの新発田市政通

皆様これで良いですか

発行者 青木三枝子（市政を考える会）

新発田市御幸町 3-1-21

TEL 0254-26-8334

平成 26 年 2 月 4 日 第 15 号

1 基本設計ワークショップが終了しました

1 月 10 日駅前複合施設基本設計審査会において、4 階建てから 3 階建てになる事が承認された後、1 月 22 日に単なる説明の為のワークショップが開催されました。審査会が終了してしまった後では何を言っても仕方がない、意味のない会でした。

このワークショップで、驚きの意見が出ました。4 階建てから 3 階建てになり、蔵書数が減少した事を懸念する意見に対し、豊栄図書館や聖籠町の図書館には本が多くあるのだから、新発田市の図書館に本がなければそちらに行けばよい、蔵書数にこだわる必要はないという主旨の意見を述べた方がいました。何のために図書館を建設するのでしょうか。中心市街地活性化のために利用しようとするだけの中身の無い図書館では、かつて新発田市に図書館を寄贈された坪川洵平氏が嘆かれると思います。

4 階建てが 3 階建てに変わっただけでなく、運営面に関するワークショップを開催すると述べていた行政側の言動が変化してきていると感じています。これまで、今回のワークショップメンバーには、そのまま運営面でのワークショップにも参加して貰いたいと述べていた行政側でした。しかし、現在は、公募にするか、委員会形式にするか検討中と述べています。多くの市民に参加して貰おうという気持ちが薄らいできているように思います。新庁舎でもそうでしたが、駅前複合施設も実施設計にはいると、市民の目が届かない場で、少しずつ当初の計画が変更されていきます。今後も市民に情報が公開されることを望みます。

2 総務常任委員会が紛糾しました

1 月 23 日に総務常任委員会が開催され、議員に基本設計内容が説明されました。行政としては、議員にも説明し了承された事とし、1 月 31 日に基本設計の内容を市長報告として提出したいと考えたのでしょうか。しかし、委員会では、議員から色々な意見が出ました。その質疑応答の中で新庁舎建設が最大 2 年間延期になる事を知りました。この事も含めて委員会での質疑内容についてお伝えします。

- ① 新庁舎建設が、鋼材が入手困難な状況という原因で工事が 2 年間延期になるにもかかわらず、何故、駅前複合施設建設計画を進めることができるのか。
- ② 駅前複合施設建設当初予算の約 22 億 5 千万円が約 33 億円（審査会では約 32 億円と説明されていましたが、ここでは 33 億円になっていました）となっている。4 階建てでは 40 億円以上かかるという事で建設できず、何故 3 階建てが 33 億円で建設できるのか財政の根拠を示して欲しい。
- ③ 当初の 4 階建てであれば、夢が膨らんでいたが、短期間で 3 階建てに変更された設計案では夢がしぼんでしまった。この計画案では、狭くて圧迫感がある。将来を見据え出来るだけ良い図書館をつくるためにも、予算が許せば、もっと広くして欲しい。そのためにも予算の根拠を示して欲しい。

④ 財政の根拠が示されない限り、設計案について議論できないという意見、この委員会で議会が承認したとしないで欲しいという意見に対し、委員長は、この委員会は基本設計案について説明するだけを目的にしたものであり、承認を得る為の委員会ではないと述べた。これに対し、では何故委員会を召集したのか、説明だけであれば書面でもできる。

⑤ 新庁舎建設予算が 10 億円増大した時の市長答弁では、資材や人件費が高騰し予算が 10 億円増えたとしても、市の負担は補助金によって 1 億数千万円の負担だけで済む、市の財政に影響はないと述べていた。駅前複合施設は、予算不足を理由に短期間で 4 階建てから 3 階建てに縮小された。市長の言っていた事と矛盾する。

以上のような意見が出ました。1 月 31 日の市長報告前に財源の根拠を示して欲しいという要望に対し、委員会開催が 1 月 31 日に予定されましたが、2 月 4 日に延期となりました（この結果については次号でお伝えします）。

3 何故、新庁舎建設が延期になるのでしょうか

鋼材入手困難という事で新庁舎建設が最大 2 年間延期されましたが、私は鋼材入手困難だけが新庁舎建設延期の理由ではないと考えています。

新庁舎は合併特例債補助金を使います。この補助金は 5 年間延長され平成 31 年度まで猶予があります。しかし、現庁舎の耐震性の問題や中心市街地活性化を理由に平成 27 年度完成を目指し計画を進めてきました。また駅前複合施設建設はアベノミクスのリノベーション補助金を使い、平成 27 年度末迄に完成しなければならないとして短期間のうちに計画を進めてきました。しかし、この補助金の交付期間は事業が実施される年度から 3～5 年となっており、平成 29 年度まで使えます。駅前複合施設建設も延期できるのです。

私は、新庁舎建設が延期されたのは、新庁舎や駅前複合施設の建設費用が増大した事により、平成 27 年度中に両方を建設した場合、健全財政を示せなくなる事を恐れた為、そして、結果として、駅前複合施設建設を優先した為ではないかと考えています。では何故、駅前複合施設建設を優先するのでしょうか。鋼材入手困難が新庁舎建設延期の理由であれば、同時期完成予定の駅前複合施設建設も延期になるはずですが。どちらかを選択するのであれば、耐震性に問題がある新庁舎建設を優先するのが道理だと思います。それをしない二階堂市政に対する不信感がますます強くなります。

これを機会に、多くの問題や疑問が残る新庁舎建設と駅前複合施設建設計画を再検討してはどうでしょうか。市民の皆様はどう思われますか。今年 11 月予定の市長選挙では民意が問われます。